

競技・審判上の注意

① 試合会場の割り当て

- <第一会場> 真岡市総合体育館・・・男子 A・C クラス、女子 A・B クラス
- <第二会場> 武道体育館（2F）・・・男子 B クラス、女子 C クラス、各クラス交流戦

② マッチ及びインターバル（試合の進行状況によっては、変更する場合があります。）

■本戦

15 点 3 ゲームマッチとします。延長なし 15 点打ち切りです。ファイナルゲームは、8 点でチェンジインズです。

- i) 各ゲーム、どちらか一方が 8 点に達したら、60 秒を超えないインターバルを取ることができます。
- ii) ゲームとゲームの間は 1 分間のインターバルを設けます。
- iii) サイドコーチのアドバイスは、ゲームとゲームの間のインターバル、もしくは水分補給のときのみ認めます。

準々決勝より正式ポイント（21 点 3 ゲームマッチ、延長 30 点まで）で行います。ただし、C クラスについては、15 点 3 ゲームマッチ（延長 21 点まで）とします。

■交流戦

全クラス、15 点 3 ゲームマッチとします。延長なし 15 点打ち切りです。

③ 交流戦

交流戦は、初戦で負けた選手を対象として実施します。例えば、1 回戦が不戦勝で、2 回戦で負けた場合も対象となります。希望者は、第二会場 2F のアリーナの出入口付近にある、「交流戦受付名簿」に記名をして、お待ち下さい。交流戦を始めるときは、館内放送や LINE オープンチャットでクラスごとに呼び出しますので、会場を離れて待機して頂いても結構です。

第二会場で行われる本戦の進行状況を見ながら、交流戦を入れていきます。開始はおおむね 13～14 時頃になる予定です。

④ 審判

■本戦

主審は、大会本部及び審判協力チームが担当します。線審は、次にそのコートで試合をする選手（又は父兄、チーム関係者）が行って下さい。得点板は、敗者が残って、次の試合を担当して下さい。

※選手が 3 年生以下の場合は、父兄か高学年の選手が代わりに線審をお願いいたします。

■交流戦

相互審判とします。対戦チームから 1 名ずつ出て、主審（線審を兼ねる）と線審をコートの対角に配置して試合を行って下さい。得点板については、本戦同様、敗者が残って次の試合を担当して下さい。

⑤ 進行

タイムテーブルのコート番号にとらわれず、流し込み方式で行いますので試合のコールにご注意下さい。

第一、第二会場それぞれの本部付近に「選手集合場所」を設けます。試合番号をコールされたら、そちらにお集まり下さい。召集係に名前を告げて、チェックを受けてから指示された席に座って待機して下さい。

試合の順番がきたら、審判用紙を選手に渡しますので、対戦相手と共に指定されたコートまで移動して下さい。そのコートで、まず、線審をやり、その後試合となります。審判用紙を主審に渡して、試合を始めてください。

初戦に限り、試合前に 2 分間の練習時間を設けます。主審の指示に従い、対戦者同士で練習をして下さい。シャトルについては、選手が用意して下さい。

感染予防対策として、試合開始時と終了時の握手は省略しますが、勝者サインは選手が自ら行って下さい。その後、勝者は、審判用紙を受け取り、直ちに各会場の本部まで持って来て下さい。敗者は残って、次の試合の得点板を担当して下さい。

※「選手集合場所」には、なるべく選手のみでお越し下さい。選手の代わりに線審をする方は、選手がコートに移動したのを見計らって、直接コートに入って下さい。

⑥ 表彰

各クラスの準決勝及び決勝終了後に随時行います。閉会式は行いません。優勝・準優勝・3位までは賞状と賞品、メダルを授与します。(3位決定戦は行いません。)

⑦ その他

コーチ席は、各エンドラインに1席ずつ設けます。

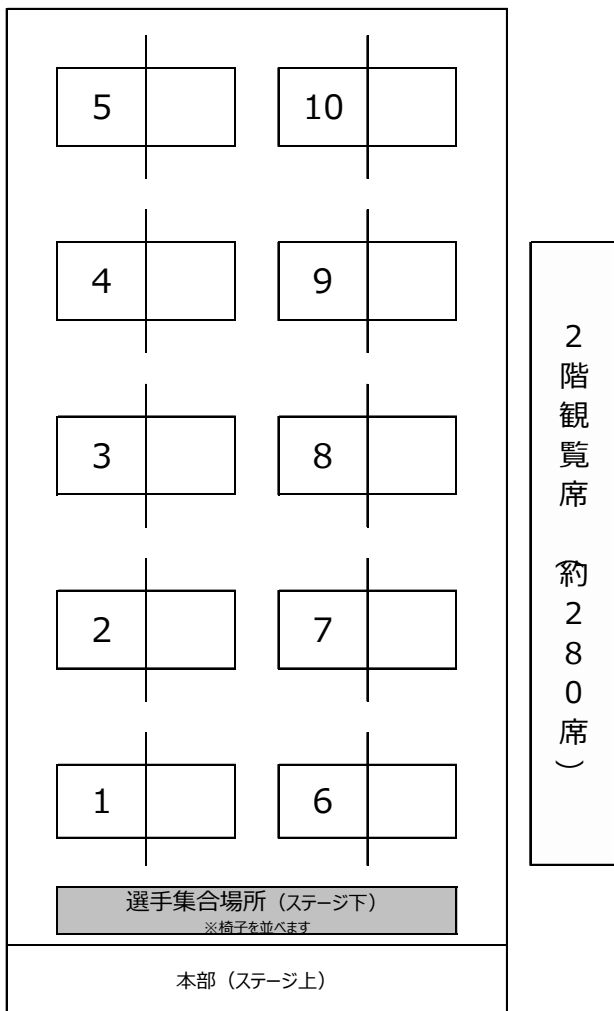
タオルや飲み物ボトルを床に直接置かないようにして下さい。コートサイドに各自バッグなどを持参して、それに入れて下さい。

Tochigi ちびっこオープンにおけるケガなどを保障する団体傷害保険に加入しております。大会中にケガをした場合は、お申し出下さい。

⑧ 会場図

第一会場については、都県ごとに観覧スペースを割り当てます。割り当てについては、別途お知らせ致しますが、座席のないスペースを割り当てる場合もございます。予めご了承下さい。第二会場については、特に指定はございません。狭いので、皆さん譲り合って、ご観覧下さい。

【真岡市総合体育館（第一会場）】



【武道体育館（第二会場）】

